

5 その他の事例 ～投薬のタイミングについて～

発生時の状況と経過

昼食注入後に発作が始まったため、発作の様子(変容、SpO₂、脈拍)を観察していた。

食後に早退予定だったため保護者の迎えを待ちながら観察を続け、保護者の到着を待って状況説明し、セルシン注入を依頼した。保護者がセルシンを注入してしばらくして発作が治まり、下校した。発作開始後 30 分でセルシン注入の指示があったが、実際に注入したのは 40 分後だった。

発生時の対応と処置

セルシン注入の目安が、小発作(大声を上げる)の時間が 30 分を越えるときとなっていたが、学校で初めての長い発作だったため、今回の発作が該当するのか迷い、発作と一般状態をそのまま観察した。保護者が迎えに来られたときに児童の様子を説明し、指示されていた時間から 10 分経過した時点でセルシン注入を保護者に依頼した。

考えられる原因や背景

養護教諭に連絡せず対応したため、保護者への電話連絡ができなかった。

保護者の迎えが発作開始から 30 分後と聞いたこと、また、SpO₂値が良好だったためそのまま様子を観察してしまった。

健康調査票に発作の様子が記入されているが確認していなかった。

保護者懇談に加わり医療的ケアについて確認したつもりだったが迷いがあった。

再発防止に向けた対策・改善点

- ・従来通り、発作が始まった時点で養護教諭へ連絡し、薬使用の指示された時間が近づいた時点で保護者連絡をする手順に従って対応する。
- ・新1年生については、迷いや不安なく医療的ケアが実施できるよう保護者から十分に情報収集しておく。
- ・年度初めには看護師間でも医療的ケア児の保健調査票の内容を確認しておく。

ポイント！

- てんかん発作について、小発作、大発作の症状を把握しておきましょう。
- てんかんで使われる部分発作、全般発作などの言葉についても理解しておきましょう。